

# 防災プログラム

## 期待される活動の効果

|     |     |     |             |    |      |       |       |     |     |        |        |
|-----|-----|-----|-------------|----|------|-------|-------|-----|-----|--------|--------|
| 思考力 | 判断力 | 表現力 | コミュニケーション能力 | 体力 | 生命尊重 | 感謝する心 | 知識・技能 | 協調性 | 主体性 | 問題解決能力 | 課題発見能力 |
| ○   |     |     |             |    |      | ○     | ○     |     |     |        | ○      |

| 活動名              | 対象     | 人数    | 時期・時間    |
|------------------|--------|-------|----------|
| 新聞紙の器、スリッパ作り     | どなたでも可 | 50名程度 | 通年 1時間程度 |
| 火起こし             | どなたでも可 | 50名程度 | 通年 1時間程度 |
| ハイゼックス米<br>アルファ米 | どなたでも可 | 50名程度 | 通年 1時間程度 |
| ダンボール空間作り        | どなたでも可 | 50名程度 | 通年 1時間程度 |

## 活動の概要・様子

○防災のプログラムを体験し、災害等の緊急時に対応できる知識・技能を養うことができます。

|  |  | 必要経費  |
|---|---|---|
|   |   | ○火起こし器 1台 450円<br>○ハイゼックス 1袋 10円<br>○アルファ米 1つ 370円～<br>○薪 1束 100円 |

| プログラム            | 天草青年の家で準備できるもの                        | 利用者で準備していただくもの                            |
|------------------|---------------------------------------|---|
| 新聞紙の器<br>スリッパ作り  | ○資料                                   | ○新聞紙 ○ラップ<br>○スプーン（新聞紙器でカレーを食べる場合）        |
| 火起こし             | ○火起こし器                                | ○長袖・長ズボン                                  |
| ハイゼックス米<br>アルファ米 | ○ハイゼックス袋 ○薪 ○くど<br>○大鍋 ○ザル ○火ばさみ ○やかん | ○お米（無洗米） ○紙皿 ○レトルトカレー<br>○スプーン・箸 ○軍手 ○マッチ |
| ダンボール空間          | ○ハサミ                                  | ○ダンボール ○ガムテープ ○ダンボール                      |

## 留意点

○火や熱湯を取り扱う活動は引率者の配置をお願いします。

## おすすめポイント

○防災に関する知識や技術を習得させるとともに、防災意識を高め災害時に迅速な対応ができます。  
○班やグループで意見を出し合うことで新しい視野をもつことができます。

## 活動のバリエーション

○他のプログラムと組み合わせることができます（例：ハイゼックス米体験＋新聞紙器、スリッパ）。

# 活動内容(手順)

| 所要時間            | 項目                        | 内容   |       |
|-----------------|---------------------------|--|-------|
| 事前              | 事前提出<br>事前打ち合わせ<br>準備物の確認 | ○必要物品や班数を事前に連絡(くどの台数、薪の確認等)<br>○火起こし器は1班(4人~5人程度)に1台貸出し<br>○活動前に集合場所・活動場所を確認 ※天候状況などによって変更<br>○役割、人員配置の確認<br>○選択した活動に必要なもの   |       |
| 15分             | 活動の説明<br>道具の受渡し<br>目的の確認  | ○活動の流れの説明<br>○道具および使い方や機能性の説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用時の状況、場面</li> <li>・道具の機能性、利便性</li> </ul> ○各団体(各班)の目的・目標を確認  | 見通し   |
| 30分<br>~<br>40分 | 活動                        | ○役割を確認し、活動を開始<br>○火や熱湯を扱う場合はケガ、やけどに注意<br>○火を管理する担当を決定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイゼックス米と活動を組み合わせている場合は、火でお湯を沸かしながら同時進行で活動を進行(例:ハイゼックス米体験+新聞紙器、スリッパの場合等)</li> </ul> | 共通体験  |
| 10分             | 片付け・まとめ                   | ○道具の返却<br>○健康観察<br>○感想や目標が達成されたか確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班で工夫した事など発表</li> <li>・引率の方の講評</li> </ul> ○次の活動の準備  | ふりかえり |